

事業報告書

第6期（平成25年度）



自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

京都府公立大学法人

京都府公立大学法人

1 平成25年度事業実績の概要

(1) 概要

平成25年度において本法人が実施した主な事業は、次のとおりである。

① 大学の設置及び運営

ア 府立医科大学（学部学生数：1,012人、大学院学生数：298人）（平成26年4月1日現在）

イ 府立大学（学部学生数：1,824人、大学院学生数：309人）（平成26年5月1日現在）

ウ 医科大学附属病院（診療科数：35診療科、病床数：1,065床、外来患者数：506,442人、入院患者数：239,954人）

附属北部医療センター（診療科数：20診療科、病床数：295床、外来患者数：130,019人、入院患者数：78,907人）

② 大学における教育研究活動

ア 大学教育に関すること

・医科大学、府立大学、京都工芸繊維大学の3大学が連携して、教養教育の共同化の実現に向けて取り組んだ。

各大学の特長を活かした科目をはじめ幅広く教養科目を提供した共同カリキュラムの作成や新たな授業科目の導入の検討を行うとともに、共通の場所で講義等を行えるようにするために京都府が整備を行っている教養教育共同化施設の建設に協力を行った。

この結果、平成26年4月から共同化を開始し、平成26年度の後期からは共同化施設での講義を実施することとなった。

・医科大学医学科の医師国家試験合格率93.9%（全国平均）90.6%

・府立大学では、平成25年度管理栄養士国家試験の合格率は、92.3%であり、90%以上の合格率を達成。

・府立大学では、府立総合資料館との共催により、国際京都学シンポジウムを開催するとともに、京都学へのいざない講座や国際京都学をテーマとしたACTRの成果発表会を開催した。

・国際京都学企画推進委員会を4回開催し、府立大学の国際京都学研究の一定の方向性を確認した。

イ 研究に関すること

・医科大学では、先端研究を行うとともに、地域医療や地域社会に貢献できる医療人の育成に取り組んだ。

・精華キャンパスに整備された産学公連携研究拠点施設の、動物系・植物系のインキュベーションラボ施設等はフル稼働の状況であり、入居企業が自由に利用できる共同実験室の分析・測定機器についても概ね好評。また、25年度当初予算で「ミネラル測定装置」が導入されたことにより、エコタイプ次世代植物工場が研究テーマとしている高機能性野菜の栽培研究はより一層深化が図られている。

ウ 地域貢献

・医科大学では、医師不足が深刻な府北部地域の人材確保に取り組み、府与謝の海病院の附属病院化により、府北部地域への医師派遣日数が24年度の延べ約300日から25年度は延べ約2,500日に大きく増加。

・「京都府北部地域・大学連携機構」の幹事校として参画し、中丹地域の自治体研修などに講師を派遣した。また京都府が北部地域で進める「京都ギャップイヤー」にも協力し、学生がスタッフ、参加者として参画したほか、推薦入試合格者にもPRも行い参加者を得た。また、成果報告会にも講師派遣を行った。

・府立大学では、新たに舞鶴市及び南丹市と包括連携協定を締結し、包括協定締結数は中期計画の目標を上回る6市町村となり、府の各広域エリアにある市町との連携協力関係を構築することができた。

エ 医科大学附属病院における医療活動

・病棟改修案について中央診療棟・病棟再編整備検討委員会で必要な課題について検討した。

・臓器移植に代わる医療として期待されるヒト幹細胞による再生医療の研究に向けた臨床試験を実施した。

・先進医療の新規承認申請の累計は中期計画の目標件数10件を上回る17件となった。

・平成25年4月1日に府立医科大学附属北部医療センターを設置した。

オ 国際交流

・医科大学では、国際交流協定締結校との留学生の相互派遣を行った。

・府立大学では、新たにドイツ連邦共和国、ガーナ共和国の大学と国際交流協定を締結し、法人化以降12校増加して計14校となった。

I 法人の概要

1 現況

- (1) 法人名 京都府公立大学法人
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 所在地 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465
- (4) 資本金の状況 31,010,025千円
- (5) 役員の状況
- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 荒巻 禎一 |
| 副理事長 | 2人 |
| 理事 | 5人 |
| 監事 | 2人 |

(6) 設置大学

- ① 京都府立医科大学
医学部医学科、医学部看護学科、医学研究科、保健看護学研究科
- ② 京都府立大学
文学部、公共政策学部、生命環境学部、福祉社会学部、人間環境学部、農学部、文学研究科、公共政策学研究科、生命環境科学研究科、福祉社会学研究科、農学研究科

(7) 学生数

① 京都府立医科大学 (平成26年4月1日現在)

医学部医学科	666人	医学研究科	277人
医学部看護学科	346人	保健看護研究科	21人
学部合計	1,012人	大学院合計	298人

② 京都府立大学 (平成26年5月1日現在)

文学部	460人	文学研究科	80人
公共政策学部	439人	公共政策学研究科	28人
生命環境学部	922人	生命環境科学研究科	201人
福祉社会学部	1人	農学研究科	0人
人間環境学部	0人		
農学部	2人		
学部合計	1,824人	大学院合計	309人

(8) 教職員数

① 京都府立医科大学 (平成26年4月1日現在)

教員	432人
職員	1,352人
合計	1,784人

※ 法人本部職員含む

② 京都府立大学 (平成26年4月1日現在)

教員	153人
職員	62人
合計	215人

2 京都府公立大学法人の基本的な目標等

京都府公立大学法人は、京都府立医科大学及び京都府立大学の設置及び管理を通して、京都府民に開かれた大学として透明性の高い運営を行うとともに、両大学の教育研究の特性への配慮の下で、百年を超える伝統及び実績の継承や両大学相互の連携を図りながら、京都府における知的拠点として、質の高い教育研究を実施することにより幅広い教養、高度の専門的な知識及び高い倫理観を備えた人材を育成するとともに、大学や地域の多様な主体と協力・連携した研究成果等の活用、附属病院における全人医療の提供等を通じて、京都府民の健康増進及び福祉の向上、京都文化の発信並びに科学・産業の振興に貢献し、もって地域社会はもとより、国内外の発展に寄与することを目的としている。